

防災教育に関わる取組(長町小学校)

異年齢集団(縦割りグループ)を活用した防災教育

1 本校の縦割り活動

地区子供会を基本に縦割りグループ(25年度は28班)を組織し、高学年児童がリーダーとなって活動内容を考え、「仲良く遊ぼう集会」「遊ぼう・作ろう集会」といった内容で年間4回実施している。また、毎年秋には、グループごとに「野草園」まで歩く「縦割り遠足(わんぱく大作戦)」を実施している。



(わんぱく大作戦)

2 ふるさと！チーム「長町」プロジェクト

地域の一員であることを自覚し、地域のために活動する意識を養うことをねらいとした活動である。今年度は、高学年のリーダーを中心に「地域のためにどんなことができるか」を話し合い、地域に提案する形をとった。また、フリー参観日に活動を設定し、保護者や町内会の方々にも話し合いへの参加を呼びかけた。

子供たちからは、「あいさつ運動」「ごみ拾い運動」「お年寄りとの交流会」などの意見が出された。子供たちから出された意見は、地区役員や保護者の協力を得て、子供会の活動として夏休みを使って実施してもらうこととした。



(ふるさと！チーム「長町」プロジェクト 話し合いの様子)

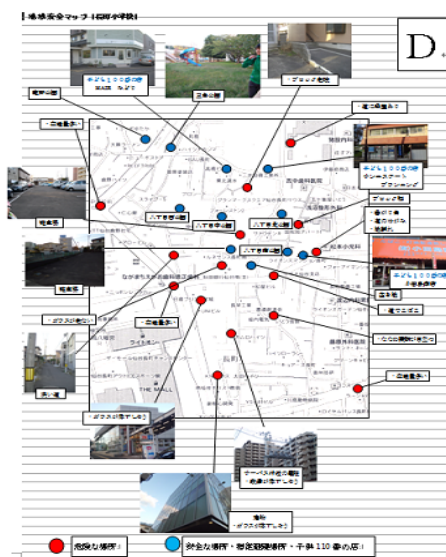
—子供たちから出された意見—

- ・ごみ拾い運動
- ・お年寄りとの交流会
- ・花を植える活動
- ・公園の清掃
- ・避難訓練
- ・ポスター作り
- ・昔遊び
- ・雪かき
- ・お茶会
- ・折り紙教室
- ・あいさつ運動
- ・地域行事への参加
- ・安全マップづくり
- ・廃品回収
- ・草取り活動
- ・コンサート
- ・手紙を書く
- ・募金活動
- ・ゲーム大会

3 地域安全マップづくり

地域の危険箇所や安全な場所を確認し、児童の防災意識を高めることをねらいに行った活動である。事前にリーダーが地域の安全な場所や危険な場所、防災対策などについて調べ、それをもとに保護者の方や町内会の方々にも参加していただきながら話し合い、「地域安全マップ」を作成した。また、縦割り活動終了後には、地震などの災害が発生した際の行動や連絡の取り方、集合場所など、家族の約束事を話し合い、確認してもらうための「家族防災会議を開こう」カードを各家庭に配布した。各家庭で話し合い、約束事を記入したカードは、見やすい場所に掲示していただいた。

(地域安全マップ)



ともに！チーム長町プロジェクト

今年度から、故郷復興プロジェクトの活動の一つとして、長町中学校と連携した「ともに！チーム長町プロジェクト」を立ち上げ、地域でのあいさつ運動や募金活動を行った。



〈長町駅前でのあいさつ運動〉

長町中学校の生徒会と本校の児童会が中心となって復興に向けて自分たちに何ができるかを考え、地域の方々とも協働した活動である。また、夏休みを利用して沿岸部の被災地を訪問し、地元の中学生や住民の方々と交流する活動も行った。本校からは6年生の代表児童が参加した。さらに、今年度の活動のまとめとして、11月には長町中学校を会場に「今復興のためにできること」と題したフォーラムを開催し、地域の復興のために、「チーム長町」として自分たちにできることは何かを考える活動に取り組んだ。長町中学校と連携した「ともに！チーム長町

プロジェクト」の取組は、高学年のリーダーにとって、地域の復興に向けて自分たちに何ができるかを考えるきっかけとなっただけでなく、地域のために進んで活動する力(共助)を育てることにもつながっている。



〈沿岸部の被災地訪問〉

ふるさとチーム「長町」プロジェクトのような形で児童の思いを地域に発信し、児童・保護者・地域が共に活動することができれば、地域としてのつながりがさらに深まり、また、お互いを知るよい機会(顔の見える関係作り)にもなる。さらに、長町中学校と連携した取組についても、地域と協働しながら行うことができる活動であり、本校の卒業生の多くが進学する長町中学校と連携を図ることにより、「地域防災・復興」という視点に立って、共通の学びを体験することができる。今後は、地域との合同防災訓練の実施など、地域と連携した取組をさらに推進していきたい。